

## 広州日本人学校 校歌

作詞・作曲 山登 靖

1 広州の空に 陽は輝いて  
かげりなき胸に 理想あふれる  
正義をもちて 学びし我らに  
真理の鐘よ 永遠に鳴り響け

2 白雲の麓 花は咲き乱れ  
歩みゆく道に 希望あふれる  
大志を抱き 学びし我らに  
道標の鐘よ 永遠に鳴り響け

3 学びの園に 夢は開きつつ  
迎えるる明日に 栄光あふれる  
平和を願い 学びし我らに  
命の鐘よ 永遠に鳴り響け

タップして広州日本人学校の校歌を聞いてみよう  
<https://www.youtube.com/watch?v=cCuztn244M4>



正門より校舎を望む

広州の空に  
「真理・道標・命」の鐘が  
永遠に鳴り響く

広州日本人学校は、一九九五年四月、広州日本商工会が会員企業から寄付金を集め、在広州日本国総領事館の支援を得て設立した私立学校です。広州で仕事をする日本人の子どもに日本と同等の教育の場を確保することを目的に設立されています。

本校の校歌は、シンガーソングライターYAMATO（山登靖）さんがいまから二十年前ほど前、まだ本校が補習授業校だったころ、十周年記念として制作してくださいました。

歌詞に出てくる「白雲」は、広州の象徴である「白雲山」のことで、まさに緑美しく雄大な山です。この「白雲山」のように堂々とした子どもたちに成長してほしい、そしてその麓の広州市が花の街と言われるように、花のように美しい心を持った子どもに成長してほしいという願いが込められ

た歌詞になっています。

当時、山登さんは本校の教壇に立たれていて、中学生から「校歌っほくない曲にしてほしい」とリクエストされ、試行錯誤しながら制作だったということです。

歌詞のなかの「正義」「大志」「平和」は子どもたちに日中友好のかけ橋になってもらいたいという願い、そして一番から三番の歌詞の最後には、「真理」「道標」「命」の鐘よ、永遠に鳴り響け」とあり、本校に在籍しているときも、そして本校を離れたあとも、いつまでも、いつまでも子どもたちが確かな思いを抱き、真つすぐ成長してほしいという願いを感じ取ることができます。私たち職員の間にもまさにこの歌詞に重なります。

子どもたちに校歌への思いや感想を聞いたところ、「歌詞やメモディーが好き」「広州日本人学校の校歌を誇りに思う」などの声が聞かれました。

これまで、多くの子どもたちが本校の校歌を歌ってきました。この広州日本人学校の校歌を胸に抱きながら世界に羽ばたき、それぞれの道を歩んでいってもらいたいと思います。